

2007年12月18日
独立行政法人 理化学研究所

次世代生命体統合シミュレーション研究開発プロジェクト シンポジウム 2007 開催

独立行政法人理化学研究所（野依良治理事長）は、「次世代生命体統合シミュレーション研究開発プロジェクト シンポジウム 2007」を2007年12月25日（火）にMY PLAZA ホール（東京都千代田区丸の内）で開催します。

理研は、政府が推進する長期的な国家戦略を持って取り組むべき重要技術（国家基幹技術）である「最先端・高性能汎用スーパーコンピュータの開発利用」プロジェクト*1の一環として取り組んでいる「次世代生命体統合シミュレーションソフトウェアの研究開発」プロジェクトの研究開発拠点として選定されました。

本プロジェクトでは、次世代スーパーコンピュータを最大限利活用し、生命現象の理解の深化、新たな薬剤開発につながる計算科学技術手法の確立などの展開を図り、ライフサイエンス分野における計算科学技術を駆使した新たな研究領域を切り拓き、わが国におけるライフサイエンス分野の進展に貢献するためのアプリケーションソフトウェアの研究開発に、大学・研究機関等と連携して取り組んでいます。

シンポジウムでは、これまでの進捗状況報告と現状を見据えた今後の研究展開について、パネルディスカッションなどを通じて、プロジェクト関係者はもちろん幅広い方々と意見交換を行います。

1. シンポジウム概要

タイトル：次世代生命体統合シミュレーション シンポジウム 2007
主催：独立行政法人理化学研究所
開催日時：2007年12月25日（火） 10:00～18:00
場所：MY PLAZA ホール 〒100-0005 東京都千代田区丸の内 2-1-1
プログラム：

・ 10:00

開会挨拶 倉持隆雄（理化学研究所・理事）

・ 10:05～10:50

基調講演 「シミュレーションが切り開く新しい生物学 ―夢と発想の展開へ―」
郷 通子（お茶の水女子大学長）

・ 10:50～11:20

プロジェクト紹介 ―ライフサイエンスの未解決問題に迫る―
姫野 龍太郎

（理研・次世代計算科学研究開発プログラム 副プログラムディレクター）

• 11:20～13:00

セッションⅠ 階層を越えるモデリングへの挑戦

モデレータ： 姫野 龍太郎（副プログラムディレクター）

パネリスト：

木寺 詔紀（横浜市立大学教授

理研・次世代計算科学研究開発プログラム 分子スケール研究開発チームリーダー）

横田 秀夫（理研・V CAD システム研究開発プログラム 生物基盤構築チームリーダー

理研・次世代計算科学研究開発プログラム 細胞スケール研究開発チームリーダー）

高木 周（理研・次世代計算科学研究開発プログラム 臓器全身スケール研究開発チームリーダー）

樋口 知之（統計数理研究所教授）

• 13:00～14:10

休憩・昼食

• 14:10～16:10

セッションⅡ 医療を通じた社会への貢献に向けて

モデレータ： 加藤 千幸（東京大学生産技術研究所 教授）

コメンテーター： 朝比奈 宏（東芝メディカルシステムズ株式会社 技師長
兼 研究開発センター長）

安東 敏彦（味の素株式会社 ライフサイエンス研究所
アミノインデックス®プロジェクト長）

プロジェクト長（大日本住友製薬株式会社 ゲノム科学研究
所構造生物研究所長）

パネリスト：

杉田 有治（理研 杉田理論生物化学研究室 准主任研究員）

末松 誠（慶應義塾大学 医学部長）

高木 周（理研・次世代計算科学研究開発プログラム
臓器全身スケール研究開発チームリーダー）

宮野 悟（東京大学医科学研究所 ヒトゲノム解析センター 教授

理研・次世代計算科学研究開発プログラム

データ解析融合研究開発チームリーダー）

泰地 真弘人（理研・ゲノム科学総合研究センター システム情報生物学研究グループ
プロジェクト副ディレクター

理研・次世代計算科学研究開発プログラム

生命体基盤ソフトウェア開発・高度化チームリーダー）

• 16:10～16:25

休憩

• 16:25～17:55

セッションⅢ 講演会「生命科学の新しい地平を拓く」

司会： 梶谷 文彦（川崎医療福祉大学 教授

理研・次世代計算科学研究開発プログラム 次世代生命体統

合シミュレーション研究推進グループディレクター)

- ・「生命システム制御のための次世代シミュレーション

上田 泰己 (理研・発生・再生科学総合研究センター
システムバイオロジー研究チームリーダー)

- ・「全脳シミュレーション ―脳の秘密の解明」

甘利 俊一 (理研・脳科学総合研究センター長)

- ・「創薬と超高速コンピュータ」

北村 一泰 (大正製薬株式会社・取締役)

質疑応答・ディスカッション

- ・ 17:55～18:00

閉会挨拶 茅 幸二 (プログラムディレクター)

2. 参加申し込み

申込方法：ホームページから申込書をダウンロード

(<http://www.rpcs.riken.jp/2007/sympo2007.html>) し、必要事項をご記入のうえ、Fax または E-mail にてお申し込みください。

(問い合わせ先)

独立行政法人理化学研究所

和光研究所 次世代計算科学研究開発プログラム

企画調整グループ 企画調整チーム 田中 朗彦

Tel : 048-462-1488 / Fax : 03-3216-1883

(報道担当)

独立行政法人理化学研究所 広報室

Tel : 048-467-9272 / Fax : 048-462-4715

Mail : koho@riken.jp

<補足説明>

※1 「最先端・高性能汎用スーパーコンピュータの開発利用」プロジェクト

計算科学技術が、理論、実験と並び、現代の科学技術の方法として確固たる地位を築きつつ、さらに発展していくために、長期的な国家戦略を持って取り組むべき重要技術（国家基幹技術）である「次世代スーパーコンピュータ」を、2012年の完成を目指し、理研が開発主体となって取り組むプロジェクト。